

宇陀市企画財政部まちづくり支援課

平成24年10月

目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1
各事業の成果 ※以下事業名（ ）内は実施団体名	
(1) わくわくたんぽぽ教室（NPO 法人わくわくたんぽぽ教室）	2
(2) 大野夢クラブ（大野夢クラブ）	4
(3) 地域の安全推進に関する事業（守ろう！子どもは宝の会）	6
(4) 宇陀カエデの郷づくり事業（NPO 法人宇陀カエデの郷づくり） ...	8
(5) 市民参加まちの資源を考えるモデル事業（まちの資源を考える会 「eco うだ」）	10
(6) 伊勢街道をテーマとした地域活性化事業（紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会）	12
(7) 砥取 福丸・燈火会（砥取 福丸・燈火会保存会）	14
(8) 介護予防教室「わっはっは」（宇陀市に口腔ケアを広める会）	16
(9) 宇宙飛行士 山崎直子氏の講演会（宇陀市 PTA 協議会）	18
(10) 宇陀ママフェスティバル ～ママ力向上計画～（WA）	20

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。

補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関（宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会）による厳正な審査を経て決定します。

補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

審査・評価の方法

①一次審査（書類審査）

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

②二次審査（公開プレゼンテーション）

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	<ul style="list-style-type: none">・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。・自主性をもった企画・運営となっているか。
公益性	<ul style="list-style-type: none">・地域活動支援の目的と合致しているか。・事業の成果が広く地域に還元されるものか。・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。・市の施策と方向性が合致しているか。・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	<ul style="list-style-type: none">・地域の実情や住民要望に対応したものか。・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。・ほかの方法で代替できないものであるか。・経費の使途が適切なものか。
実現性	<ul style="list-style-type: none">・目標（達成すべきこと）が明確なものか。・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	<ul style="list-style-type: none">・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

審査委員

氏名	所属・職
濱田 嘉也	宇陀市ボランティア連絡協議会 会長
福角 登	宇陀市産業振興会議 委員長
上山 幸寛	奈良県くらし創造部協働推進課 課長
前野 孝久	宇陀市副市長

事業報告書

事業名	わくわくたんぽぽ教室
実施団体	特定非営利活動法人 わくわくスタディひろば
実施状況	<p>①すくすくひろばおはなし会（市立中央図書館お話の部屋） 毎月第2・4水曜日 午前10時～12時（1回30分×3回） 内容：絵本の読み聞かせ・手作りパネルシアター・手作り紙芝居・親子ふれあい遊び 平成23年度 計 24回実施</p> <p>②ちゅーりっぷひろばおはなし会（市立中央図書館お話の部屋） 毎月第2・4水曜日 午後2時30分～3時 内容：絵本の読み聞かせ・手作りパネルシアター・手作り紙芝居を親子で楽しんでもらう 平成23年度 計 24回実施</p> <p>③ジュニアおはなし隊 夏休み6回実施 内容：幼児から小学生が48名とその保護者など18名で、市内3ヶ所の老人福祉施設を訪問し、詩の群読、手話歌、リコーダーの合奏、劇などを発表したり、利用者の方々と共にふれあい遊びを行いました。 また、市内老人会の方々との交流会も実施し、延べ224名の高齢者の方々と交流を深めました。</p>
事業効果	<p>・おはなしを通して、子ども達には豊かな情操が育まれ、親子の初めての社会参加の場として、親同士の交流も広まりました。結果、子育て中の親がゆったりとした気持ちで子どもと接する姿が見受けられるようになりました。絵本や紙芝居、パネルシアター等から、子ども達の興味は幼年童話へと移り、本好きな子どもになる手助けが出来たと思います。</p> <p>・「ジュニアおはなし隊」では、参加してくれた子どもの様子を見ていると世代を越えた人とのつながりが強まり、思いやりや優しさが育まれたと思います。</p>
特記事項	<p>宇陀市まちづくり活動応援補助金を頂いたおかげで、今まで子どもに達に届けられなかった絵本やエプロンシアターなどを見せてあげる事が出来て本当に感謝いたします。</p> <p>今後も購入させて頂いた備品を大いに活用し、多くの子ども達に届けていきたいと思っています。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	365,400	宇陀市まちづくり活動応援補助金
会費	15,500	正会員会費@1,000円×9名 賛助会員会費@500円×13名
雑収入	3,478	
合 計	384,378	



【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	96,000	講師謝金
消耗品費	114,318	事務用品、エプロンシアター、紙芝居、 パネルシアター作成材料費
印刷製本費	10,000	ジュニアお話隊の活動記録コピー代 ジュニアお話隊のチラシコピー代
食料費	41,112	ジュニアお話隊従事者お茶・パン代 お話会従事者お茶代
通信運搬費	7,000	切手代
備品購入費	110,357	パネルシアター用ステージ、紙芝居舞台、 絵本、エプロンシアター、パネルシアター CD
その他	5,591	ボランティア保険料、写真代、印紙代ほか
合 計	384,378	

事業実施団体

名称	NPO法人 わくわくスタディひろば
所在地	宇陀市榛原ひのき坂3丁目3番地の11
設立の経緯・目的	H4年10月より、おはなし会を年12回、8年間実施。H13年3月より宇陀市立中央図書館に移動し、乳幼児おはなし会・園児おはなし会・小学生おはなし会を年96回実施、現在に至る。H7年8月にはジュニアおはなし隊を結成し老人会や福祉施設利用者との交流を図っている。H17年10月にNPO法人わくわくスタディひろばを設立し、「0歳から100歳までに愛を届けよう！」をスローガンに人々が心豊かに生きていくための一助になれば、との思いで活動をしている。
主な活動内容	①わくわくたんぽぽ教室事業 ②放課後子ども教室事業 ③すすき野原お月見読み聞かせ事業 ④ストーリーテラー養成講座事業 ⑤子育て支援事業 ⑥幼稚園おはなし配達事業 ⑦市内外小学校、老人福祉施設おはなし配達事業 ※⑦は「榛原本を楽しむ会」と実施

事業報告書

事業名	大野夢クラブ
実施団体	大野夢クラブ
実施状況	<p>①4月9日～12日 ライトアップを予定していましたが、東日本大震災のため中止</p> <p>②4月1日～20日 さくらまつり 21,000人（大野寺入山者数）</p> <p>③6月16日 大野寺周辺草刈、清掃</p> <p>④8月13日～16日 磨崖仏ライトアップ、燈火会</p> <p>⑤11月24日～30日 磨崖仏ライトアップ、燈火会</p> <p>⑥12月12日 大野寺周辺清掃</p> <p>⑦12月31日 燈火会</p> <p>⑧12月31日～1月3日 磨崖仏ライトアップ</p> <p>【事業実施の様子】</p>  
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・室生大野地域にある文化財に関心を持ってもらうことができました。 ・大野寺のしだれ桜や磨崖仏をライトアップすることで、多くの観光客にお越しいただき、観光面で効果があったと思います。また、これらの活動が地域おこしにつながればと考えています。
特記事項	この事業を継続して定着させたいです。

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	100,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
協賛金	55,000	
寄付金	128,309	
合 計	283,309	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
消耗品費	40,000	ろうそく代
〃	4,000	草刈り刃
光熱水費	4,028	電気代
〃	3,213	混合油代
印刷製本費	10,000	チラシ代
食料費	2,068	草刈り時パン・お茶代
賃借料	40,000	照明設備借上料
手数料	180,000	灯籠作成手数料
合 計	283,309	

事業実施団体

名称	大野夢クラブ
所在地	宇陀市室生大野1680番地
設立の経緯・目的	室生大野地域にある文化財、大野寺摩崖仏を見直し後世に伝え守っていくと共に、地域の振興発展を図り、地域おこしにつながることを願って季節ごとに行事を行うためにH21年12月に設立。
主な活動内容	4月 大野寺の桜の開花に合わせて摩崖仏のライトアップ 8月 お盆に大野寺周辺及び摩崖仏のライトアップ 10月 海神社の宵宮に灯籠点灯 11月 紅葉に合わせて大野寺周辺及び摩崖仏のライトアップ 12月 年末年始に大野寺周辺での灯籠点灯 随時 大野寺周辺の草刈り、清掃

事業報告書

事業名	地域の安全推進に関する事業
実施団体	守ろう！子どもは宝の会
実施状況	<p>市内の防犯抑止並びに児童・園児の登下校時の安全確保のため、朝7時より約1時間、午後も下校時間に合わせて青色回転灯防犯パトロール車により通学路を巡視しました。</p> <p>また、独居高齢者の安否確認も実施しました。</p> <p>平成23年度延べ実施回数・・・338回</p>
事業効果	<p>現在のところ通学時の犯罪は無く児童・園児並びに学校関係者からも感謝の声をいただいています。</p> <p>同じく安否確認を行っている高齢者からも同様の声をいただいています。</p>
特記事項	

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	112,214	宇陀市まちづくり活動応援補助金
会費	13,000	
事業協賛金	126,310	
合 計	251,524	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
燃料費	251,524	青色回転灯装着車のガソリン代
合 計	251,524	

事業実施団体

名称	守ろう！子どもは宝の会
所在地	宇陀市大字陀上片岡799番地
設立の経緯・目的	奈良市富雄の幼女殺害事件、長崎の幼児殺害事件等、全国的に子どもを狙った凶悪事件が多発し、子どもを守るのは地域住民の役目と考え、H17年12月に「守ろう！子どもは宝の会」を設立。
主な活動内容	①登下校時における児童・生徒の安全確保のため、青色回転灯装着車による通学路の巡視及び立哨 ②独居高齢者の安否確認

事業報告書

事業名	宇陀カエデの郷づくり事業
実施団体	特定非営利活動法人 宇陀カエデの郷づくり
実施状況	<p>①9月よりホームページ開設の準備を開始し、10月1日に開設しました。</p> <p>②11月6日（日）にカエデの植栽地（菟田野宇賀志）で「カエデの森コンサート」と題して、ミニコンサートや子どもを対象とした手作り紙芝居「カエデとモミジというは」を上演したり、手作りコーナーではTシャツやカエデのしおりに作ったり、バザーも出店しました。このイベントの開催にむけては、10月1日からイベント情報をホームページに掲載したり、チラシを14,000枚作成して市内全域を対象に新聞折込を行ったり、ポスター100枚を作成して市内の駅構内や主要公共施設、地域の自治会掲示板等に掲示しました。また、奈良テレビのイベント情報コーナー（11月3日午後6時30分）でも取り上げられたおかげで多くの方に来場いただけたと考えています。</p> <p>【事業実施の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業効果	<p>①ホームページを開設したことで、カエデやイベントの情報発信が容易になりました。</p> <p>②雨の中のイベントとなりましたが、約200人の集客があり、日本に誇れるカエデの収集地として世界中のカエデ1,200種類3,000本をPRすることができました。</p>
特記事項	<p>平成25年4月に旧宇太小学校跡に開園するワールドメイプルパーク整備事業への積極的な協力と、地域おこし・まちづくりの核と成り得る活動の基礎づくりが出来たと考えています。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	500,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
会費	734	
合 計	500,734	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	85,000	コンサート出演者謝礼他
通信費	59,384	イベント案内切手代他
役務費	13,090	イベント保険加入料・振込手数料
消耗品費	71,773	バッチ・ペンキ・紙・刷毛他
印刷製本費	130,000	チラシ・ポスター作成料
委託料	52,000	ホームページ作成委託料
賃借料	30,000	送迎バス借上
使用料	36,750	音響設備・電気代
備品購入費	22,737	Tシャツプリント機器
合 計	500,734	

事業実施団体

名称	NPO法人 宇陀カエデの郷づくり
所在地	宇陀市菟田野古市場5-1-2
設立の経緯・目的	奈良市在住のカエデコレクターが所有していた世界のカエデがH18年9月に菟田野地域に移植され、菟田野花き植木組合が管理していたが、このカエデを資源としたまちづくりと地域の活性化を図るため、花き植木組合と地域の住民が一体となってH23年3月にNPO法人宇陀カエデの郷づくりを設立。
主な活動内容	①カエデの植栽管理 ②ホームページの運営 ③会報の発行 ④カエデ鑑賞会の実施 ⑤接ぎ木講習会の開催 など

事業報告書

事業名	市民参加まちの資源を考えるモデル事業
実施団体	まちの資源を考える会「ecoうだ」
実施状況	<p>広報、啓発のチラシ作成と配布6月～11月 啓発講演会の開催11月12日（アンケート調査実施） 来場者39名 バイオマス利活用の生ごみ収集&堆肥化 準備期間 6月14日～10月23日 実施期間10月24日～12月24日 堆肥化10月24日～平成24年3月24日</p> <p>循環型社会形成の一步、堆肥を活用した循環野菜で催事、収穫祭を3月25日（アンケート調査実施）に催す。当日は悪天候だったが、アンケート提出者だけで90名を超え、複数来場やアンケート回答無しの方などを含めると百数十名の来場があった。</p> <p>【事業実施の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業効果	<p>啓発運動のモデル事業を行うことによって、循環型社会形成市民参加の事業内容についての理解が徐々に深まっている。また、協賛金等の理解や「ecoうだ」への入会希望者も出てきており、催しの来場者も増加している。やはり、継続していくことにモデル事業の意義があると言える。</p>
特記事項	<p>野菜の販売による事業資金の調達を考えていたが、活動することで事業に対する理解が深まり、協賛金の形態に変更して予算を調達した。より多くの市民へ広報を行えるサービスの方策へ転換。予定に無いチラシ作成や野菜の無料配布。ボランティア精神による会員の奉仕による大きな要因であり、予算内に収めることができ、来期事業に繰り延べることができた。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	500,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
事業協賛金	6,400	
合 計	506,400	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
燃料費	30,000	ガソリン代
講演会会場使用料	2,000	農林会館会場ホール（午後）
〃	2,100	農林会館和室（午前・午後）
講演会開催時昼食代	10,400	13名分（講師含む）
講師謝礼	80,000	交通費2万円、謝礼6万円
委託料	180,000	生ごみ収集・堆肥化委託料
講演会チラシ代	119,700	新聞の折込（市内全域）、広報用
催事開催チラシ代	4,000	A5版用紙
催事開催時お茶代	1,200	
催事開催費用	77,000	循環野菜仕入ほか作業代
合 計	506,400	

事業実施団体

名称	まちの資源を考える会「e c o うだ」
所在地	宇陀市榛原大貝332番地
設立の経緯・目的	宇陀市から、ひとに優しく暮らしやすい環境をみんなで築き、みんなで分かちあい、みんなで守り育てていくことを考え、世代を越えて行動する仲間が集まり、循環型社会を推進することを目的としてH22年7月に設立。
主な活動内容	①廃棄され、焼却されるゴミの分別の啓発活動 ②分別された資源の活用を地域の活性化と共用させる活動 ③バイオマスの活用から食育への貢献 ④3R運動の推進から循環型社会の形成についての啓発活動 ⑤ゴミの削減とゴミ焼却炉の延命への啓発活動 ⑥CO ₂ の発生抑制に取り組み地球温暖化防止へ協力

事業報告書

事業名	伊勢街道をテーマとした地域活性化事業
実施団体	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
実施状況	<p>1. 平成23年 7月24日(日) 伊勢街道歴史資源調査ワークショップ・歴史資源調査</p> <p>2. 平成23年10月 2日(日) 伊勢街道交流フォーラム準備会議</p> <p>3. 平成23年11月27日(日) 伊勢街道ウォーク・伊勢街道交流フォーラム</p> <p>4. 平成24年 2月 9日(木) 元三屋号看板準備・屋号調査</p> <p>5. 平成24年 2月27日(月) 元三地区住民ヒアリング</p> <p>6. 平成24年 3月 9日(金) 元三地区住民となら・まちづくりコンシェルジュ会議</p> <p>7. 平成24年 3月20日(火) 元三地区住民説明会</p> <p>8. 平成24年 3月25日(日)・27日(火) 案内板、屋号看板、常夜灯ソーラー機材設置</p> <p>【事業実施の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業効果	<p>ワークショップにおいて、元三地区の屋号看板の調査を新たに事業に加えることとしました。常夜灯に設置予定のソーラー照明が安価で入手できることが分かり、急遽、今年度事業として実施することになりました。</p> <p>当初は、『室生村史』に記載された6軒分を製作する予定で取り組みましたが、地域からの強い要望もあって、24年度からは「なら・まちづくりコンシェルジュ」の力を借りて地域の歴史資産を調査し、マップづくりや屋号看板製作に取り組む地域の団体が組織されることとなりました。</p> <p>案内板を設置したところ、周辺の住民がその歴史的価値を認識し、大野地区では「小学校の地域学習に役立てれば」との声も聞かれました。</p>
特記事項	<p>・伊勢街道交流フォーラムの開催日が室生地区の団体の行事と重なり、地域からの参加者が予想以上に少なくなりました。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	500,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
自己資金	34,105	
参加料	21,000	ウォーク参加料@1,000×21人
合 計	555,105	



【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	30,000	講師謝金
旅費	1,460	講師旅費
消耗品費	55,635	常夜灯ソーラー他
印刷製本費	100,000	チラシ印刷代
食料費	18,420	スタッフ昼食・お茶代
委託料	192,350	案内板・屋号看板制作費他
通信運搬費	4,600	郵送料
使用料・賃借料	11,470	会場使用料
備品購入費	120,400	拡声器・スクリーン他代金
事業費	20,770	イベント保険料他
合 計	555,105	

事業実施団体

名称	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
所在地	宇陀市大宇陀上新1925番地
設立の経緯・目的	紀伊半島交流会議は「吉野・熊野の霊場と参詣道」の世界遺産登録を見据えて、H16年3月末に歴史街道推進協議会の呼びかけで結成されました。その中で伊勢街道分科会は、伊勢本街道沿いの歴史や文化にふれ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢街道を軸としたネットワークの構築を目的として、宇陀市を中心に伊勢街道沿いで活動する人々に呼びかけて結成しました。
主な活動内容	主な活動は、古道を歩き、道標や常夜燈、宿場町等の歴史的資産の調査をし、その情報を発信するためにウォーキングイベントを開催しています。H19年からは風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、フォーラムの開催やマップの作成をはじめ、地域の団体と共に古道の復興や道標の再建など街道の歴史的資産の保全活動を進めています。

事業報告書

事業名	砥取 福丸・燈火会
実施団体	砥取 福丸・燈火会保存会
実施状況	<p>平成23年12月31日 午後5時～9時まで実施</p> <p>午後5時～ 燈火会点火 5000個 午後6時～ イベント開始 トランペット・太鼓 午後7時～ 福丸点火 5基</p> <p>福餅・だんご汁・スープ・灯籠・とんぼ玉・こけ玉等の販売</p> <p>道の駅「宇陀路 室生」よりシャトルバス運行</p> <p>広報活動 ポスター 宇陀市・名張市他 チラシ 宇陀市内新聞折り込み</p> <p>【事業実施の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は補助金を活用して道案内の看板・のぼりを新調したり、遊歩道の整備をすることで会場へのアクセス環境を向上させることが出来ました。 ・天候も良く、福丸・燈火会ともに最高の出来でしたが、昨年の大雪の影響で客足が遠のいたのか来場者が少なかったのが残念でした。今年度の来場者は約200名であったので、いかに多くの方に来ていただくかが今後の課題です。
特記事項	<p>今後は新聞・雑誌・インターネットなどをこれまで以上に活用することで「砥取 福丸・燈火会」の周知に努め、多くの方に親しみを持っていただけるイベントとして続けていきたいと考えています。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
繰越金	54,000	
市補助金	500,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
協賛金	460,000	
販売場所使用料	2,500	
祝儀	40,000	
募金	9,715	
売上金	38,700	福餅、だんご汁等
合 計	1,104,915	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	60,000	コンサート出演者謝礼（2組）
消耗品費	480,041	燈火会材料代
〃	2,980	福丸材料代
〃	100,697	イベント材料代
〃	10,940	事務用品代
光熱水費	8,480	ガス・灯油代
印刷製本費	188,999	ポスター・チラシ印刷代ほか
原材料費	129,546	遊歩道整備用材料代
委託料	40,000	マイクロバス運行委託料
〃	24,000	雑踏警備委託料
備品購入費	59,232	ランタン・テント他
合 計	1,104,915	

事業実施団体

名称	砥取 福丸・燈火会保存会
所在地	宇陀市室生砥取481番地
設立の経緯・目的	「福丸」という伝統行事を後世に残すと共に、燈火会と合わせて広く世間に知ってもらい、地域おこし及び宇陀市の観光資源になることを目的とした活動を行うためにH18年8月に設立。
主な活動内容	①大晦日に「砥取 福丸・燈火会」の実施 ②夏祭りなどのイベントにおけるパネル・ポスターによる広報活動 ③新聞・雑誌・インターネットなどによる広報活動

事業報告書

事業名	介護予防教室「わっはっは」
実施団体	宇陀市に口腔ケアを広める会
実施状況	<p>平成23年8月28日、9月11日、9月25日の3日間にわたって、榛見が丘公民館「ひまわり」にて、介護予防教室「わっはっは」を開催しました。定員10名のところ、9名の方の参加がありました。介護予防プログラムのうち、運動機能部門では、宇陀市の特定高齢者介護予防事業でも講師を務める理学療法士の江藤先生に担当していただき、口腔機能部門は奈良県歯科衛生士会副会長の松尾先生に担当していただきました。いずれの部門においても、現時点における運動または口腔機能の能力値を測定し、機能を低下させないための具体的な手法をレクリエーションゲーム的なものも交えて、実際に行っていただきました。最終日には、3日間すべてに参加された5名の方には、修了証をお渡ししました。</p>
事業効果	<p>プログラム終了後にアンケートと座談会を開催しました。主催団体が「口腔ケアを広める会」であったため、歯磨き指導程度のことをやるのだろうと、暇つぶし気分で参加されていた方が大半だったようですが、意外に本格的な介護予防の手法を学べたことを喜んで下さっていました。参加9名中7名の方には、またこういう機会があれば是非参加したいというお言葉をいただきました。今回の補助金により、握力計、下肢筋力測定器、長座体前屈測定器を購入することができました。これにより、平成24年以降も事業継続のめどがつき、事業に活かしていく予定です。</p>
特記事項	

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金 寄付金等	178,550 11,501	宇陀市まちづくり活動応援補助金
合 計	190,051	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	60,000	理学療法士 10,000円/日×3日 歯科衛生士 10,000円/日×3日
旅費	3,000	500円/日×3日×2人
食料費	6,506	講師 1,000円/日×3日×2人 スタッフ 506円
消耗品費	83,591	測定器具、文具、歯ブラシ等
印刷製本費	31,554	チラシの印刷代等
施設使用料	5,400	ひまわり会館
合 計	190,051	

事業実施団体

名称	宇陀市に口腔ケアを広める会
所在地	宇陀市榛原榛見が丘1-5-1 6 介護センターCoCoRo事務室内
設立の経緯・目的	宇陀市民に「介護予防」、特に「口腔機能向上プログラム」とは何かということを伝え、要介護状態になってしまう方を一人でも減らしたいという目的を達成するために、H23年3月に設立。
主な活動内容	① 2か月に1回程度、勉強会の実施 ② 市内の介護職員、歯科衛生士向けの口腔ケア講習会の実施

事業報告書

事業名	宇宙飛行士 山崎直子氏の講演会
実施団体	宇陀市PTA協議会
実施状況	<p>この事業は、平成24年1月6日（金）14時より宇陀市文化会館かぎろひホールに宇宙飛行士の山崎直子さんを招いて開催しました。宇陀市内の小学生・中学生を中心に500名近くの市民を集め、1時間の講演と30分の質疑応答が行われました。講演の中で山崎さんは、「小さな事でも心に持ち続けることで誰でも夢をかなえることができる」とエールを送り、子どもだけでなく大人にも心に響く講演となりました。講演の後も子ども達との写真撮影やサイン会などを快く引き受けていただき、子ども達には忘れられない思い出となったと思います。</p> <p>今後も、2月4日に開催する星の観察会を皮切りに宇宙教育に関する各種イベントを企画しており、「宇陀市から宇宙飛行士を！」をテーマの一つひとつ積み上げと、宇陀宇宙黒大豆を使った特産品の開発・販売による宇陀市の活性化に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。</p> <p>【事業実施の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業効果	<p>宇宙飛行士の山崎直子さんの講演会を開催することで、宇陀市の子ども達に大きな夢と希望を与えることが出来たと考えています。これを機に宇陀市を代表する人材が多数輩出されることを期待します。</p> <p>また、去年収穫された宇陀宇宙黒大豆が今年6月の作付より本格的に生産される予定です。それを使った新しい商品開発を行うことで宇陀市を活性化し、雇用の場を創造することによって若者の市外への流出を抑えることが出来ると考えています。</p>
特記事項	<p>この事業は、宇陀地区黒大豆小豆生産部会の協力の下に、宇陀市の子ども達に夢と希望を与えることと、宇宙に送った宇陀黒大豆を使った宇陀市の活性化を目的として企画しました。今後は、宇陀市の特産である宇陀宇宙黒大豆を使った新しい商品提案を広く募集したいです。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	500,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
会費	8,366	
合 計	508,366	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	300,840	講演料
〃	10,000	司会者謝礼
使用料	22,000	会場使用料
消耗品費	33,982	横断幕・立て看板代
〃	11,000	花束代
印刷製本費	63,000	チラシ代
食料費	9,450	講演関係者食事代
〃	16,451	スタッフ食事代
役務費	16,443	新聞折込手数料
委託料	25,200	雑踏警備費
合 計	508,366	

事業実施団体

名称	宇陀市PTA協議会
所在地	宇陀市榛原下井足17-3
設立の経緯・目的	H18年1月の合併により旧4町村のPTA協議会が合併して宇陀市PTA協議会となった。
主な活動内容	子ども達の学校、家庭、地域における生活向上のため、県PTA協議会や単位PTA協議会、地域と連携し、ふれあい講演会や子どもフェスタなど様々な事業を行う。

事業報告書

事業名	宇陀ママフェスティバル ～ママ力（リョク）向上計画～
実施団体	WA（ダブルエー）
実施状況	<p>平成23年11月26日（土）宇陀市総合体育館にて、「母親が元気になれば家族も地域も元気になる」というコンセプトのもと、運営する側も参加する側も母親というイベントの特色を生かすために、母親目線で母親のための母親に特化したイベントを開催しました。</p> <p>このイベントに参加した母親が生活に戻った時に役に立つ内容かどうか？を常に探求した結果、色々なブースが誕生しました。その中心的ブースが◆習い事ブースです。</p> <p>その他、WAの活動の柱である①シルバー世代と子育て世代と子ども達この三世代の交流②地産池消のすばらしさを伝える、この2点を融合させたブース◆おにぎりニギニギ体験ブース◆キッズふれあいルーム（託児所・授乳室併設）を中心として、本当に運営スタッフ・ボランティア・来場者など会場全体が笑顔に包まれるイベントとなりました。</p> <p>◎来場者数 約1,000人（推定） 【受付人数 777人 受付しなかった組 約100組】 ◎ボランティアスタッフ 約100人</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>母親（主婦）業は、評価を得ることが難しく社会から認められていないとの錯覚を起こしがちです。これは、コミュニケーションをとることで人とつながり、社会とのつながりを感じることで解消できると考えます。そのうえ「つながり」は自分の価値を再確認でき、やりがいを見出し、パワーを発揮することができます。この全ての事を「宇陀ママフェスタ」の準備期間とイベント当日で実感することができ、更に仲間との絆・地域の活性化を生むイベントにすることができました。</p>
特記事項	

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	495,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
会費	9,265	
合 計	504,265	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	87,000	出演者謝礼
使用料	76,830	会場使用料
印刷製本費	103,740	チラシ・ポスター印刷代
保険料	15,000	ボランティア保険加入料
消耗品費	31,695	イベント使用消耗品代
委託料	190,000	会場設営・音響施設
合 計	504,265	

事業実施団体

名称	WA
所在地	宇陀市榛原榛見が丘1丁目6-3 アーバヒルC 102
設立の経緯・目的	「母親が元気になれば家族も地域も元気になる」をコンセプトに、「母親力向上で地域をかえる！地域を活性化させる！そして生きがいを持って笑顔で母親業に戻ることができる」を目的としてH23年4月に設立。
主な活動内容	①定期的に話し合いの場を設け自分達に必要な支援、政策はどんなことか見極め、その実現に向けてアプローチし活動する ②実情把握のため他の都道府県、市町村の母親と勉強や交流の場を設ける ③世代を越えた地域住民とのコミュニケーションの環を作る ④イベントを開催し、自分達の活動趣旨を発信する